３．グランドプラン対象地区における高さを中心とした建物景観の考え方（案）

５つの方向性　④ 中景に対する建築ボリュームの配慮

松林と調和した高さ、幅、奥行きを総合的に考えることが必要です。
湘南海岸の特徴的な景観は、海と砂浜と調和した立派な松林にあります。（白砂青松100選）
松林の景観を保全するために、松林と調和した建物の高さ、幅、奥行きを総合的にバランスさせることが必要です。

白砂青松100選：(社)日本の松の緑を守る会が選定　林野庁

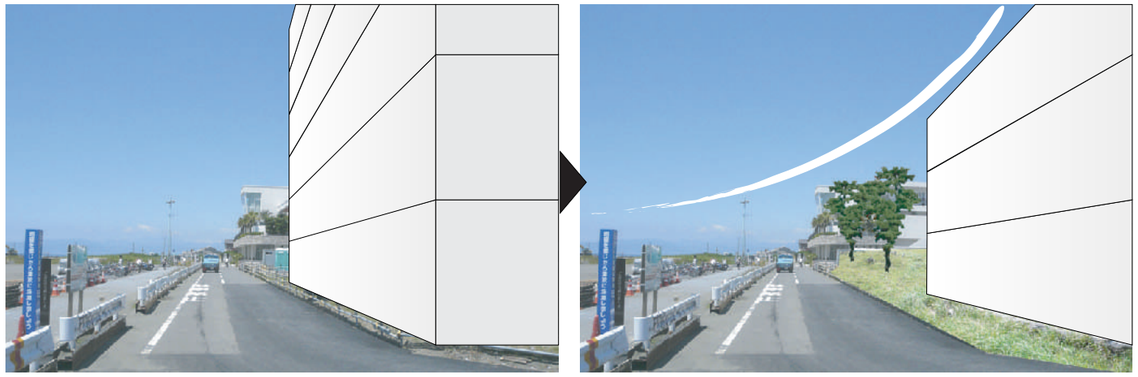
例えば、このようなこと景観を守ることが必要です。

藤沢から大磯まで連なる国道134号の松林

松林の高さに配慮した４階建てのマンション

メモ　この方向性について、ご意見やアイデアを記入してください。（次回部会でご発言ください）

５つの方向性　⑤ 近景に対する圧迫感の軽減



広々とした浜辺に対して圧迫感を与えない形態・意匠を考えることが必要です。
開放的な相模湾に面する茅ヶ崎海岸は、大海原への広々とした景観をもっています。
海岸に隣接し、海岸への入り口にあたる場所では、来訪者に対して圧迫感を与えない形態や意匠を持つことが大切です。

例えば、このような景観にしないことが大切です。

歩道や広場など多くの人が利用する場所に接して高層建築があると非常に圧迫感が高まります。

メモ　この方向性について、ご意見やアイデアを記入してください。（次回部会でご発言ください）